

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU

TANTO (福祉車両)

TANTO CUSTOM (福祉車両)

SUBARU

CIFFON (福祉車両)

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

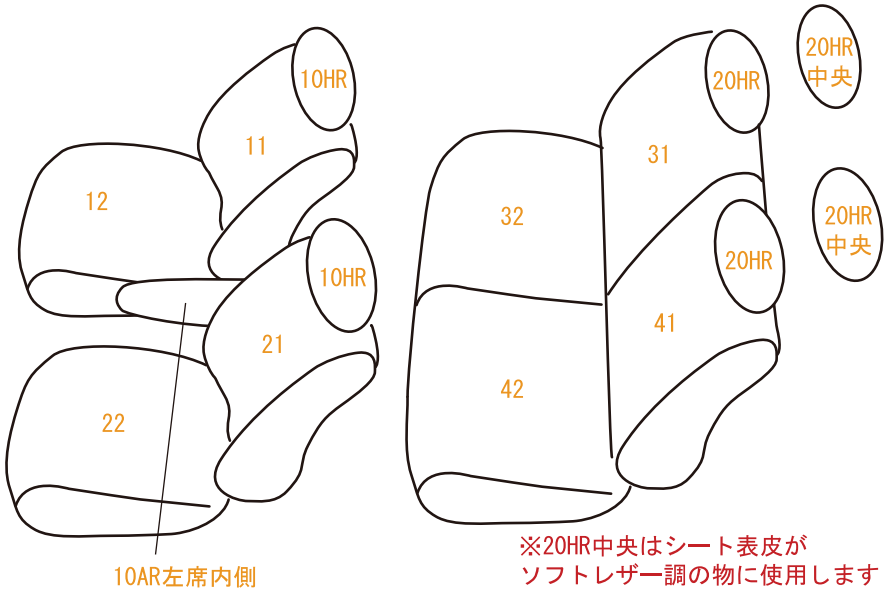
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~9P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 10P~11P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 12P~16P
1 列目助手席背もたれの装着方法	…> 17P~22P
2 列目座面装着方法	…> 23P~26P
2 列目背もたれの装着方法	…> 27P~28P
ヘッドレストの装着方法	…> 29P~30P
アームレストの装着方法	…> 31P~32P
完成図	…> 32P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 33P~34P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (ソケット : 10mm・14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

※シートカバーの装着にはシートの裏側で作業を行う場合があります。シートの裏側には鋭利な金属もありますので、怪我をされないように注意して作業を行って下さい。



- 1 シートカバーを装着する前にシートリフターの動作を確認して下さい。シートリフターのレバーを動かすとレバー内側のプラスチックパーツと擦れる場合があります。擦れないように意識してレバーを動かすと、プラスチックパーツに当たることはありませんが、こちらはシートカバーを装着する前から起こり得る現象で、特にシートを下げる際に起こります。シートカバーを装着したことが起因となり起こり得る現象ではないことを、予め確認して下さい。



- 2 カバーを装着する前にシートを一番高い位置へ調整しておきます。



- 3 シート背面下の図の点線で囲んでいる生地の固定を外します。



- 4



- 5



- 6 シートの背面から3番の生地を引くと図のように生地が出てきます。黒いゴムが付いている生地はシートの背面側から出てきますが、白いゴムで固定されている生地は一定の隙間ができる程度で止まります。こちらは配線によりこれ以上は引き出せないようになっているので、無理に引っ張らないように注意して下さい。

5P ▶

※ゴムの色は仕様変更などで変わる場合があります。



7 シートリフターのレバーを外します。レバーの軸部分にあるキャップをヘラなどを使用して外します。



10 シート内側のシートの軸になる部分の下側にあるネジを、プラスドライバーを使用して外します。



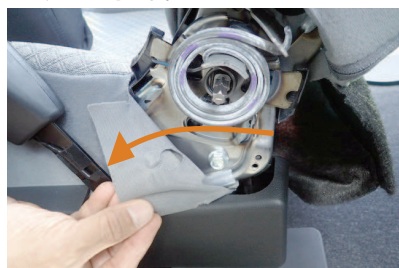
8 キャップを外すと中にネジが1本あります。プラスドライバーでネジを外し、レバーを手前に引くと外れます。



11 ネジが留まっていたプラスチックパーツを外します。図のシートの表面側から見た位置にプラスチックパーツのツメがあります。ツメの位置を意識して上へめくり上げるようにして外していきます。



9 リクライニングレバーの軸の下側にあるネジを、プラスドライバーを使用して外します。



12 プラスチックパーツ内側の純正のシート表皮を、図のようにめくりず。シート表皮はシートの後ろ側で固定されているので、そちらの固定を外してめくって下さい。この状態でシートカバーの装着を行います。



- 13** シートカバーをシートのラインに合わせて前側からかぶせます。シートの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



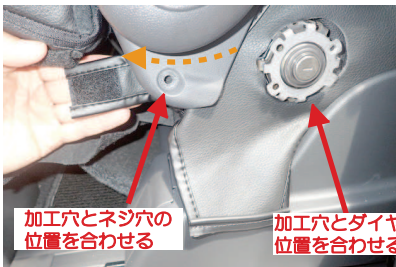
- 16** 背もたれと座面の隙間に生地と生地が付いているベルトを入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 14** カバー外側に付いているマジックテープのベルトとカバーの端を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 17** 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。こちらは6番の生地が完全にめくり上がらないため作業が行いにくくなっています。生地を左右から少しずつ均等に引き出すようにして下さい。



加工穴とネジ穴の位置を合わせる

加工穴とダイヤルの位置を合わせる

- 15** 9番でネジを外したプラスチックパーツの内側に、図のように生地を通します。通した生地の加工穴とネジ穴の位置が合うようにして下さい。シートカバーの加工穴の位置と、シートリフターのダイヤルの位置を合わせます。

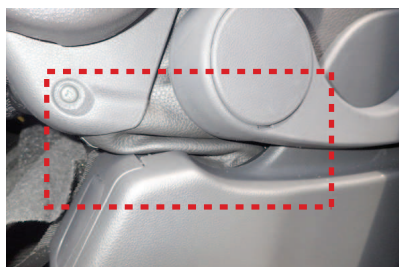


- 18** 引き出した生地の端と、15番でプラスチックパーツの内側を通した生地の端を、マジックテープで固定します。

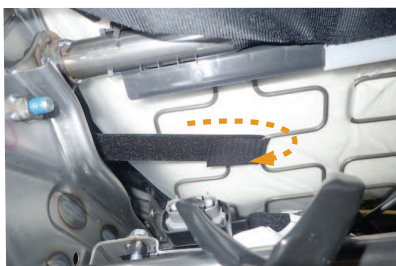


シート裏側からシートの外側を写した図

- 19 14番で入れ込んだマジックテープのベルトを、シート裏の隙間から引き出します。



- 22 21番で入れ込んだ生地は、シートカバーを装着後シートを下げると、図のようにシワになることがあります。こちらは生地を吸収するだけの隙間が無いため、予めご了承下さい。



- 20 マジックテープのベルトはシート裏側の金属部分に巻き付けて固定します。



- 23 シートの内側です。カバー側面の固定部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 21 リクライニングレバー下の図の位置に、端に固定部材の付いた生地をヘラなどで入れ込みます。この隙間は固定部材が完全に入り込むほど奥行きがありません。固定部材が途中で引っ掛かる程度に入れ込んで下さい。



- 24 カバー内側の生地をシートの後ろ側へ引き出して、17番で引き出した生地とマジックテープで固定します。この際、ネジ穴部分とプラスチックパーツを固定する突起部分の位置へシートカバーの加工穴を合わせるようにして下さい。



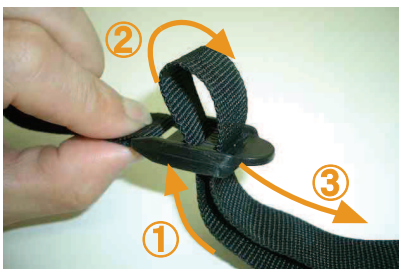
- 25 17番で引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。



- 28 9番と11番で外したプラスチックカバーに生地を挟み込み元通りに固定します。シートリフターのレバーも元通りに取り付けます。カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。



- 26 シートの前側からベルトを引き出して、カバーに付いているバックルに通します。



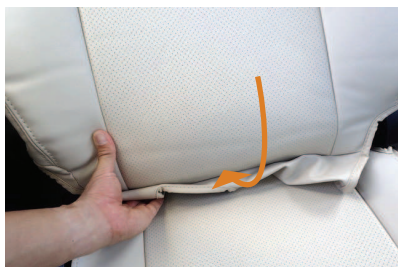
- 27 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。

Step2

…> 1列目運転席背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
入れ込む生地にはフックが付いています。フックで座面カバーを傷つけないように注意して下さい。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。
シートの背面にはサイドエアバッグの配線などがあるので、配線などに注意して作業を行って下さい。



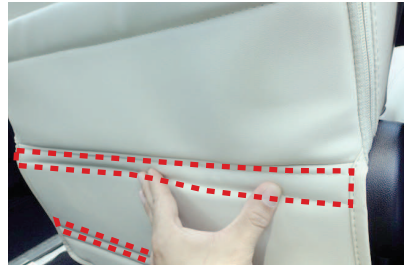
- 3 生地の伸びを利用して台座を取り出します。革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても慎重に作業を行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 6 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を5番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



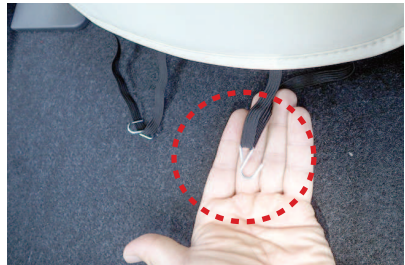
- 7 カバーの両側面に付いているファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 10 5ページ6番で外した生地を元通りに固定します。固定した生地に、カバーの裏側に付いている2本のマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 8 シート背面の5ページ6番で固定を外した生地を少々強引にめくり上げた図です。図の矢印の辺りに純正シート地を固定しているフックがあります。



- 11 カバーの背面下にゴムが2本付いています。ゴムに付属の金属フックを付け、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 9 5番で引き出した生地に付いているフックを、8番の純正シート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



- 12 カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。

Step 3

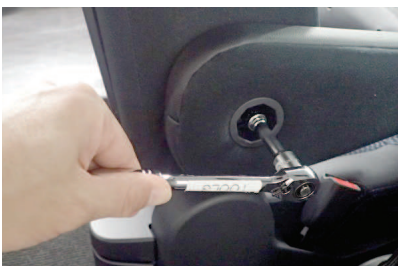
…> 1列目助手席座面の装着方法



- 1 助手席にシートカバーを装着する前にアームレストとバックボードを外します。アームレストの軸部分にあるキャップをヘラなどを使用して外します。



- 4 3番のフックの位置を意識してバックボードを上をスライドさせるように持ち上げます。



- 2 キャップを外すと中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。



- 5 フックの固定が外れるとバックボードの上側が図のようにシートから外れます。



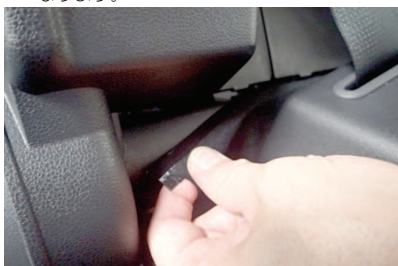
- 3 シート背面のバックボードを外します。まずバックボードを外した図で、バックボードを固定しているフックの位置を確認して下さい。バックボードの裏側にフックが2か所あります。



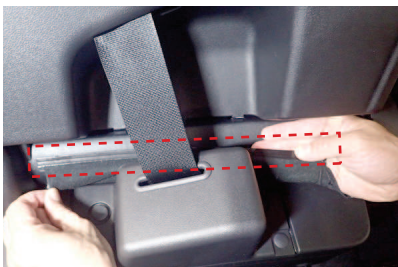
- 6 バックボードを固定している下側の固定部材を外します。バックボード下側のシートベルトが出ている辺りです。バックボードとシート表皮の境目となる隙間にヘラなどを差し込みます。ヘラの先端を2センチメートル程差し込んで下さい。



7 バックボードの裏側です。
ヘラを差し込んだ隙間にバックボードとシート表皮を固定している固定部材があります。差し込んだヘラを抜きながら固定部材を押すと、隙間から固定部材が抜けやすくなります。



8 バックボードの表側から固定部材の一部が外れた状態です。
部材の一部が外れると、後はそこを慎重に引っ張っていきと部材の固定が外れていきます。
この作業は無理やり行うと固定部材の縫い目が切れたり、シート表皮が裂けたりするので作業は慎重に行ってください。



9 バックボードから完全に固定部材が外れた図です。



10 バックボードの隙間からシートベルトを通します。



11 バックボードがシートから外れました。
バックボードはシートに戻すまで作業の邪魔にならないように保管して下さい。



12 シートを図のように車外へ出します。
この状態で座面カバーを装着します。



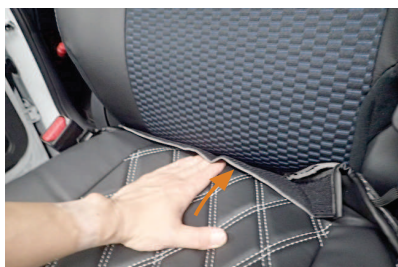
- 13 カバーの前側に付いているマジックテープのベルトを、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。マジックテープのベルトは2本あります。



- 14 シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込み、シートの先端から後ろ側へカバーをかぶせます。シート先端の生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



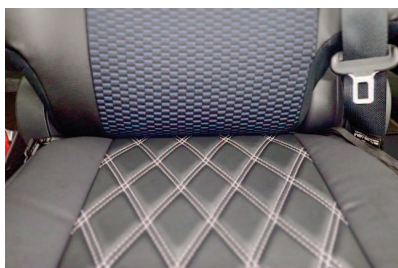
- 15 シートの付け根部分です。カバーの裏側にマジックテープが付いています。



- 16 座面の奥にシート生地の材質が変わる部分があり、その生地にマジックテープが貼り付きます。15番のマジックテープを座面の付け根に直接貼り付けるようにして、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 17 マジックテープの付いた生地は、折れ曲がったり、違う位置に貼り付いたりする場合があります。その場合はヘラなどを使用して生地を伸ばすように正しく固定して下さい。



- 18 背もたれと座面の境目部分は図のようになります。



- 19 シートの外側です。
シートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



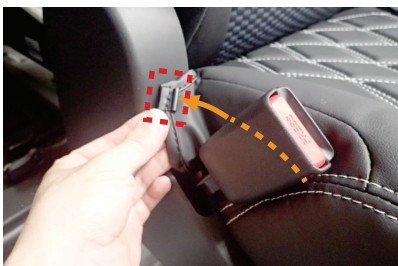
- 22 固定部材を図のプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。
プラスチックパーツを指で外側に広げるようにすると入れ込みやすくなります。



- 20 シートの内側です。
外側と同様にシートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 23 シート外側の付け根部分です。
カバーの端にはゴムが付いています。ゴムを生地と一緒にシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 21 シートベルトのバックルの内側に生地を通します。
通した生地の端に固定部材が付いています。



- 24 ここからはシートの裏側に潜り込んで作業を行うようになります。
周りの状況を確認し、作業中はシートを絶対に動かさないように注意して作業を行ってください。
シートの裏側のパーツにはグリスが付いているので、すぐに拭き取れるウエスなどがあれば便利です。
1番で入れ込んだベルトを図のように引き出します。



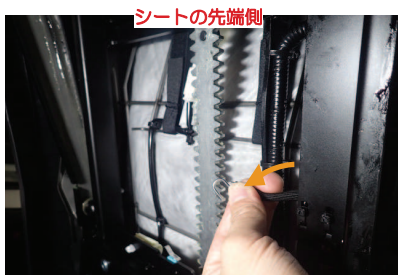
- 25 引き出したマジックテープのベルトを、図の点線で囲んでいる黒い金属パーツの内側に通します。こちらは隙間が大変狭くなっています。パーツの端で怪我をされないように注意して作業を行って下さい。



- 26 マジックテープのベルトを金属部分に巻き付けて固定します。



- 27 マジックテープのベルトを固定すると図のようになります。



- 28 23番で入れ込んだゴムを引き出します。ゴムに付属の金属フックを取り付けて、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

マジックテープのベルトとゴムを固定した後、シートをゆっくり動かして固定部材がシート裏のパーツと干渉したりしていないか確認して下さい。少しでも違和感を感じた場合は、直ちに使用をやめてカバーの装着を見直して下さい。



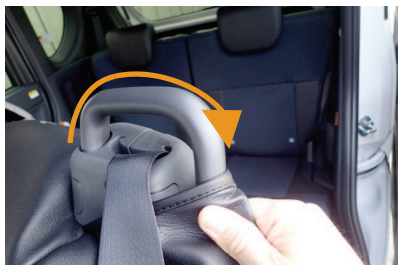
- 29 カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

Step 4 ・・・> 1列目助手席背もたれの装着方法

※助手席背もたれにシートカバーを装着すると、シートベルトの巻き取りが鈍くなる場合があります。シートカバーを装着後、シートベルトの確認を行う作業を説明していますが、シートカバーを装着する前もシートベルトを引っ張り、シートベルトの巻き取り具合を確認しておくようにして下さい。



- 1 カバー背面のファスナーを開けた状態にしておきます。
シート外側の肩口から出ているシートベルトの内側にカバーを通します。



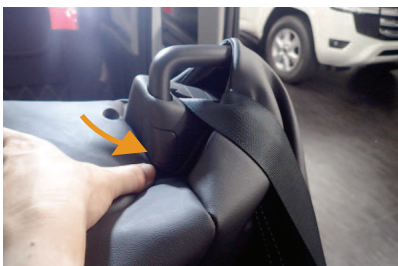
- 4 3番で入れ込んだ部分を軸として、台座部分にカバーを慎重に通します。台座部分が大きい場合なかなか生地が通らない場合は、台座部分を外すことができます。その作業を行う場合は21ページの30番から34番を確認して下さい。



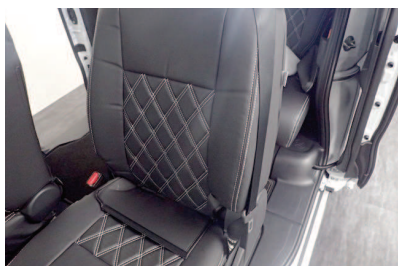
- 2 カバーをゆったりかぶせた状態で、背面のファスナーを半分程閉じます。
カバーをしっかりとかぶせた状態では、ファスナーを閉じることが困難になります。



- 5 台座部分にカバーを通すことができれば、台座のフチにヘラなどを使用して生地を入れ込み、台座周りを整えます。



- 3 シートベルトが出ている台座部分を取り出します。
まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



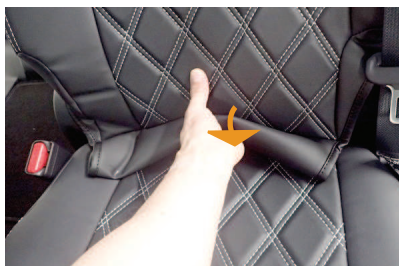
- 6 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



7 ヘッドレストの台座を取り出します。



10 半分程閉じていたファスナーを全て閉じま
す。



8 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みま
す。背もたれの角度を調整して、入れ込み
やすい位置で作業を行って下さい。



11 カバー側面の生地をシートに馴染ませなが
ら、シート背面で純正シート地を固定して
いるフックの上から、カバーのフックを引
っ掛けて固定します。



9 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き
出します。



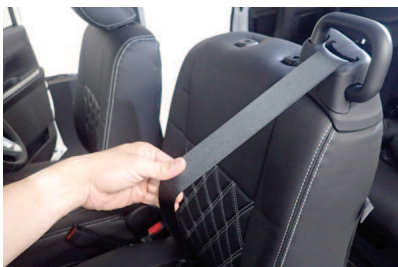
12 反対側の側面も同様です。
純正シート地を固定しているフックの上か
ら、カバーのフックを引っ掛けて固定しま
す。



- 13 シート外側の背面下です。こちらは先端に何も付いていない生地になりますが、シートの背面側に引き出しておきます。生地はその後プラスチックボードをシートに戻す際、挟み込み固定するようになります。



- 14 シートの背面側は図のようになります。



- 15 この時点でシートベルトを引っ張り、巻き取りがスムーズに行われるか確認して下さい。巻き取りが鈍いと感じた際はカバーの装着を見直してみるか、21ページ30番から35番を確認して下さい。



- 16 シート背面側の下部分です。薄い黄色をしたスポンジのシートのクッションを、図の金属バーの下側に入れ込みます。
※クッションの色などは変更される場合がありますので薄い黄色とは限りません。



- 17 シートのクッションを図のような状態にしてバックボードをシートに戻します。この状態にしておかないとバックボードの上側のフックが引っ掛かり辛くなるので注意して下さい。



- 18 バックボードの隙間からシートベルトを通します。



- 20 9番で引き出した生地先端に付いている固定部材を固定します。
 固定部材は12ページ6番から外したシート表皮と同じように固定します。
 固定部材の先端を12ページ6番でヘラを差し込んだ隙間部分に入れ込みます。
 固定部材がしっかりとハマると『カチッ』と音がする感覚があります。



- 21 バックボードの裏側です。
 図の位置から固定部材が出てきているか確認して下さい。



- 22 固定部材をヘラなどを使用して全て入れ込んでいきます。



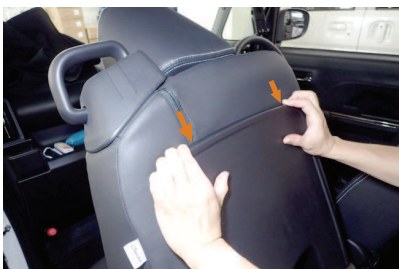
- 23 シート背面の下側は図のようになります。



- 19 バックボードをシートに固定します。
 シート下側の軸部分です。
 プラスチックパーツとバックボードの端を合わせます。



- 24 バックボードの上側を固定します。
 12ページ4番で外したバックボード裏側のツメの位置を意識して、シートに引っ掛けるように固定します。



- 28 フックを引っ掛けて、フックをしっかりと引っ掛けるイメージで、バックボードを上から下へ押しします。



- 29 フックが引っ掛かれば、図のようにバックボードを手前に引いて、簡単に外れてこないか確認して下さい。もし簡単に外れてしまう場合は、フックの掛かりが甘いか、16番のクッションが影響している可能性があります。そちらをもう一度確認して下さい。



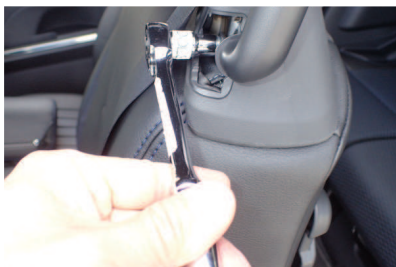
- 30 カバーのラインを整えて、助手席背もたれの完成です。



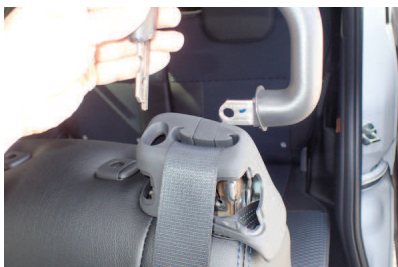
- 31 ここからはシートカバーを装着したことでシートベルトの巻き取りが鈍くなった場合の確認方法を説明します。シートカバーの装着に問題が無く、シートベルトの作動に問題がない場合は、特に確認して頂く必要はありません。シートベルトの台座部分を外して確認します。まずシートベルトの裏側にあるネジをドライバーを使用して外します。



- 32 次に図のキャップをヘラなどを使用して外します。キャップは前側と内側にあるので、それぞれ外します。



- 33 キャップを外すと中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 33 前側・内側ともボルトを外すと、まずシートを可動させる際に揺むアーム部分が図のように外れます。



- 34 プラスチックパーツを軽く揺らしながら手前に引くと、図のようにシートから外れます。



- 35 台座の内側が確認できます。
この内側で入れ込んだ生地などがシートベルトに直接干渉したり、生地が内部の部品を押し付けて、間接的にシートベルトを抑えたりしていると、シートベルトの巻き取りに影響します。台座の内側に生地を入れ込む以上、ある程度は干渉しますが、明らかにシートベルトの巻き取りに影響が出ている場合は、こちらのカバーの装着をやり直して下さい。

※カバーの装着をやり直しても改善されない場合は、直ちにカバーの使用を止めて、弊社へご連絡下さい。

Step 5

…> 2列目座面の装着方法



- 1 シートの内側からカバーを装着していきます。
運転席側・助手席側のシートを前後にずらした状態で、カバーを隙間に入れ込むようにかぶせていきます。



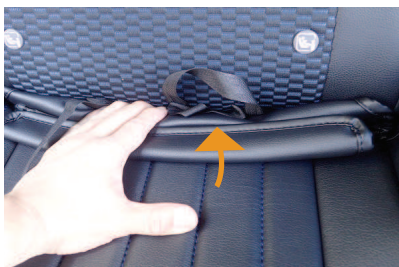
- 4 入れ込んだ2枚の生地をシートの背面側から引き出します。



- 2 シート全体にカバーをかぶせて、シートのラインに合わせます。



- 5 カバーの位置を確認します。
シートの付け根部分です。
カバーの加工穴からチャイルドシート固定用のバーが見えていれば、カバーは正しい位置にあります。バーが見えていない場合はカバーの装着を見直して下さい。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
生地は端にベルトの付いた生地と、生地の裏側に板状の部材が付いた生地の2枚あります。それぞれ入れ込んで下さい。



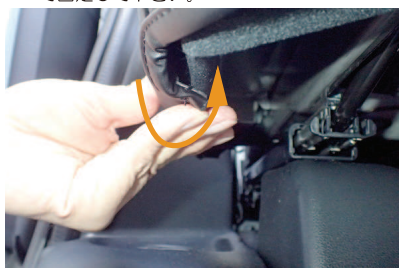
- 6 4番で引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。



- 7 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出します。



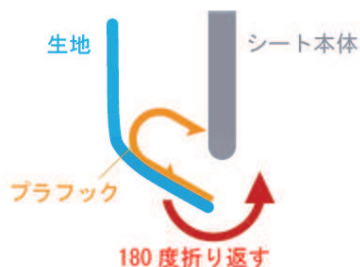
- 8 ベルトはシート前側のカバーに付いているバックルに通して固定します。
バックルの固定方法は9ページ26番を参考して下さい。
※ベルトは必ずスライドレバーの上側に通して固定して下さい。



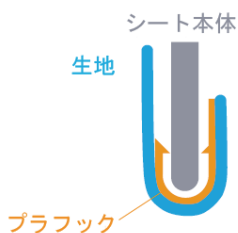
- 9 シートの外側です。
こちらのカバーには生地裏側に大きめのブラックが付いています。フックをシート本体のフチに引っ掛けて固定します。
詳しくは10番から12番のイラストを確認して下さい。



- 10 ブラックの固定方法を分かりやすく説明するためにイラストを使って紹介します。



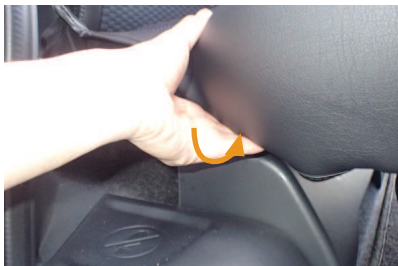
- 11 ブラックは、生地と共に180度折り返してからシート本体に下から上へ引っ掛けるようにします。



- 12 正しく固定すると、このようになります。



- 13 ブラフックを固定すると図のようになります。
フックはシートのフチにしっかりとめ込まないとすぐに外れてしまいます。フックを引っ掛けて奥まではめ込むように持ち上げて固定して下さい。
また、少々フックの形状が表面の生地に浮かび上がります。こちらは製品の仕様となりますのでご了承下さい。



- 14 シート外側の後ろ側も同様にブラフックを固定します。



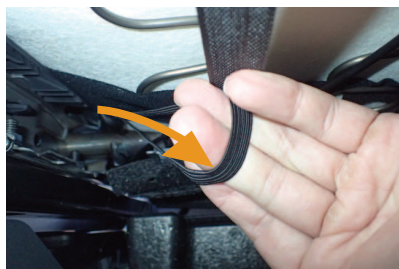
- 15 シート外側のプラスチックパーツ部分です。シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



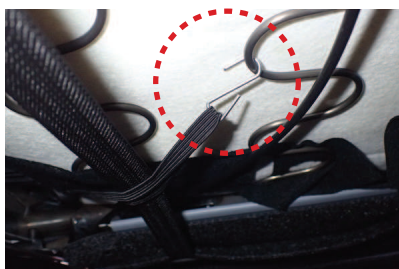
- 16 シート外側の一番後ろ側のカバーには、図のようにゴムが付いています。



- 17 ゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込みます。



- 18 ゴムをシートの裏から引き出します。



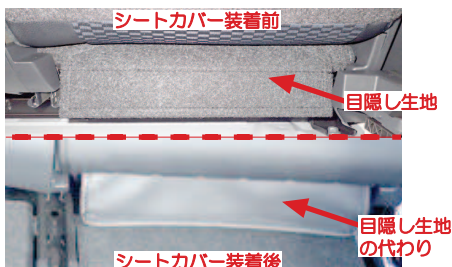
- 19 ゴムに付属の金属フックを取り付けて、シート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



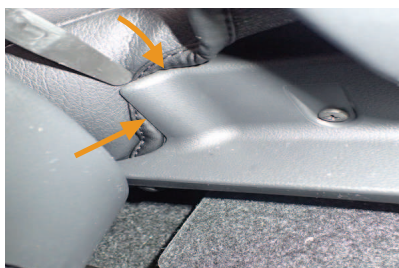
- 22 シート内側の一番後ろ側のカバーには、図のようにゴムが付いています。外側同様ゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込み固定します。



- 20 シートの内側です。外側同様に前後2箇所あるブラフックを固定します。



- 23 シート背面側のシートカバー装着前と装着後の比較図です。
3番で入れ込んだ生地の裏に板状の部材が付いた生地は、純正シートにあった、シートの内側を目隠しする為の生地の代わりになります。板状の部材はどこかに固定するわけではありません。生地を形状を保つために付けてあります。



- 21 シート内側のプラスチックパーツ部分です。シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 24 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 カバー外側面のファスナーを開けておきます。
シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



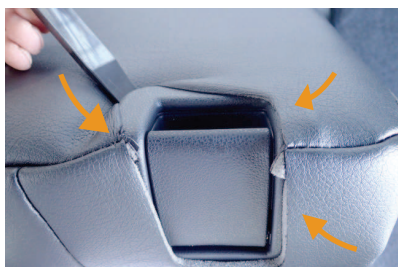
- 3 シート内側の軸部分です。
生地を引っ掛けるようにして、シート形状に沿わせてカバーをかぶせます。



- 6 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



7 5番で引き出した生地と、カバーの背面下の生地をマジックテープで固定します。



10 シート肩口のリクライニングレバー周りの生地を、ヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



8 シート背面のスライドレバー周りの生地をヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



11 生地を全て入れ込むと、リクライニングレバー周りは図のようになります。



9 生地を全て入れ込むと、スライドレバーの周りは図のようになります。



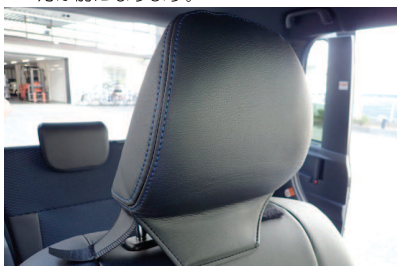
12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 7 …> ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



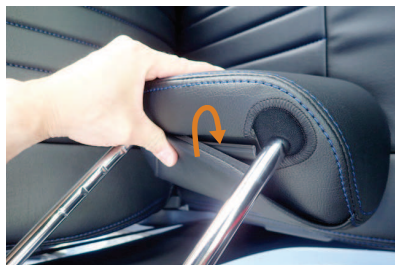
- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生지를寄せ合いながら、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト



- 8 2列目ヘッドレストは2種類あり、2種類のシートカバーを同梱しています。ファブリックシートはカバーのタグに20HRと印字しているものを、ソフレザーシートは20HR中央と印字しているカバーを使用して下さい。

形状は異なりますが、どちらも同様の固定方法でカバーの装着を行います。

ヘッドレストの後ろ側の形状にカバーに沿わせるようにかぶせます。カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。カバーはヘッドレストの形状を見て前後を確認して下さい。



- 9 ヘッドレストの前側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 10 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 11 ヘッドレストをシートから外します。1列目ヘッドレスト同様に、マジックテープとブラックでカバーを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 8

…> アームレストの装着方法



- 1 カバーの大きい方の加工穴から図のようにカバーを裏返して、アームレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 4 アームレスト内側のプラスチックパーツのフチに、かぶさっている生地を入れ込みます。加工穴の方が大きいので、プラスチックパーツにかぶさっている部分のみ生地を入れ込んで下さい。



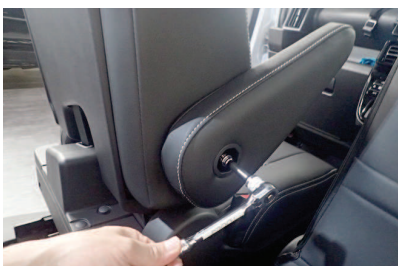
- 2 カバーをアームレスト全体にかぶせます。アームレストの後ろ側にカバーをかぶせていく際は、慎重に作業を行って下さい。



- 5 アームレスト外側の軸部分のプラスチックパーツのフチに生地を入れ込みます。



- 3 カバーをアームレスト全体にかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 6 アームレストをシートに戻します。

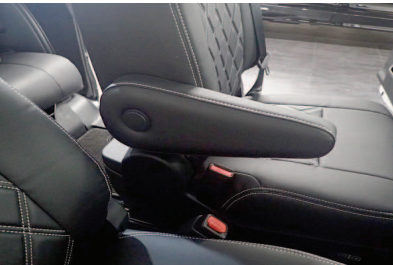
完成図



7 キャップを固定します。



1列目



8 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。



2列目



助手席



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816